

ふじのくに地域・大学コンソーシアム
ゼミ・研究室等地域貢献推進事業

老人クラブ活動の活性化

静岡文化芸術大学 デザイン学部

毛利 陽香 ・ 飯塚 ゆりの ・ 戸田 西香
小浜 朋子 研究室 ・ 新妻 淳子 研究室

シニアクラブ（老人クラブ）とは・・・

- ◆高齢者の生活を明るく豊かなものにすることを目的とし、地域住民によって自主的に運営されている団体
- ◆自治体や民間団体がシニアクラブを支援
自治体の広報誌やホームページ、地域の公民館や福祉センター、知人や友人の紹介によって、情報を得る。
- ◆単なる交流の場に留まらず、高齢者が主体的に社会に参加し、共に活動する場を提供し、高齢者が孤立することなく地域社会の一員として充実した生活を送れるよう支援する役割を担う。
- ◆趣味活動（書道、絵画、手芸、俳句、囲碁・将棋など）、健康促進（ヨガ、体操、ウォーキングなど）、地域貢献、清掃活動、防災訓練、地域イベントの企画運営、地域社会への貢献を目指す活動、学習の場など、多種多様な活動がある。

シニアクラブ活性化に向けた主な課題

《課題1》

メンバーが集まらない。会員の減少。

《課題2》

役員を担う人材が不足。高齢化。

《課題3》

魅力ある活動の企画・継続が難しい。

その他のシニアを支えるコミュニティ活動

■ 高齢者サロン

地域住民が主体となって運営され、参加者が自由に参加でき、無理なく楽しく通い続けられることを重視。地域ボランティアや民生委員が運営に関わり、地域の公民館や集会所などで開催。

■ 自治会

地域住民が自主的に組織する団体で、地域の課題解決や生活環境の向上を目的。行政との橋渡し役として機能し、住民の声を行政に届けたり、防災や地域イベントを通じて住みやすい環境を整える役割。

■ 町内会

特定の町内に住む住民が組織する団体で、住民同士の交流や助け合いを中心に活動。清掃活動や地域の祭りなど、住民間のつながりを深めることに重点を置いている。

研究目的と研究の進め方

より多くの高齢者が参加したくなる
「シニアコミュニティが活性化する場・プログラム」
を具現化すること

シニアクラブの会員／非会員の方にアンケートを実施
シニアクラブのリーダー経験者へのヒアリング



結果を分析して、「シニアクラブの課題の背景」を把握



「シニアクラブが、シニアの地域コミュニティ活動の一つとして、これからどうあるべきか」を考えて提案

研究のスケジュール

2026年

2027年度

9

10

11

12

1

アンケート
作成

アンケートの実施
ヒアリングの実施

まとめ

↓
《調査準備》磐田市シニアクラブ 正副リーダー

《調査1》 磐田市見付宿たのしい文化展（52名）

《調査2》 磐田市 富士見町自治会（32名）

《調査3》シニアクラブ 正副リーダー（12名）

《調査4》長田生涯学習センターの利用者 及び
みのり大学の受講生・卒業生（193名）

《調査5》東京都墨田区のシニアクラブの
リーダー経験者 及び 会員（12名）

《調査準備》磐田市シニアクラブ 正副リーダー



2025年9月3日 及び 10月8日

シニアクラブの課題をヒアリングし、アンケートの内容の検討に協力いただいた。各地域のシニアクラブのメンバーにも見付宿の文化展に来て、アンケート調査に参加していただけるよう、案内状の配布をお願いした。

《調査Ⅰ》 磐田市見付宿たのしい文化展（52名）



2025年10月18-19日

文化展に来場した65歳以上の方を対象にアンケート調査を実施。

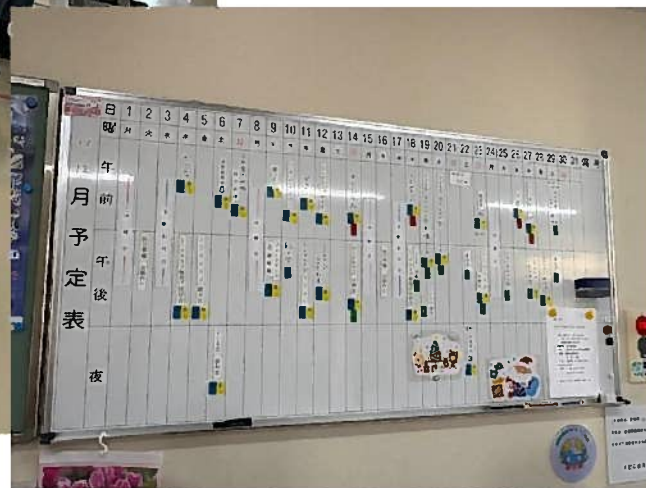
時間のある方には、少しヒアリングも行った。

シニアクラブに加入していない方の意見も多く聞くことができた。

見付宿たのしい文化展 10月18～19日



《調査2》 磐田市 富士見町自治会（32名）



2025年11月23日

磐田市富士見町自治会、65歳以上の方にアンケート調査を実施。
シニアクラブ加入者の意見を多数きくことができた。

自治会長にヒアリングを行い、自治会とシニアクラブの運営の連携
がうまくいっている秘訣をお聞きすることができた。

《調査3》シニアクラブ 正副リーダー（12名）



2026年 1月 7日

磐田市シニアクラブリーダーに、アンケート結果の速報版を共有し、ご意見を伺った。実態を把握できて勉強になった、他の団体との連携を考えたい、一定の年齢になった方には積極的に勧誘をしたい、などのコメントをいただいた。

《調査4》長田生涯学習センターの利用者 及び みのり大学の受講生・卒業生（193名）

2026年 1月11～23日

長田生涯学習センターの、高齢者の地域コミュニティ活動の事例を
ヒアリング。生涯学習センターが地域包括センターなどとも連携し
て、地域のシニアの見守りを兼ねて活動。

長田生涯学習センターの利用者 及び みのり大学の受講生・卒業
生(193名)からアンケートの回答を得た。



高齢者学級「みのり大学」

◆静岡市が、高齢者が新たな知識、技術を学ぶと共に、仲間づくりや異なる世代との交流をとoshi、豊かな人生を送ることを目的として開設。

◆静岡市内に居住する、60歳以上の方が対象。

◆各学級それぞれのプログラムで、月1～2回、1回2時間程度、郷土、歴史、環境、健康、文学、音楽、美術、気象防災、消費生活など幅広い分野に渡って、講義や実技により、楽しく有意義に学ぶ。

◆自主活動として、学級によっては学級生が自ら計画し実施する学習活動がある。卒業生の同窓会もある。



墨田区での高齢者の活動について、お話し会のご案内



新年を迎え、墨田区社会福祉協議会小地域福祉委員会と中和子どもひろば地域スタッフの責任者の皆様は種々行事を企画され、お忙しく活動されていらっしゃいますことと拝察しております。

立川一日では町会役員の橋本和樹株式会社社長の橋本博様からのご紹介にて、静岡文化芸術大学教授の小沼朋子様研究員の活動にて、高齢者についての行動や考え方についてのアンケートに答えます活動や各種モニターや調査に参加してまいりました。

その結果、小沼教授の地元静岡県の高齢者の皆様との回答が少し異なり、社会生活におきまして墨田区の皆様が大変積極的な生き方が感じられますので、小沼教授より是非に皆様方の活動への取り組みにつきまして、お話を伺いたいという申し出がありました。そこでこの度お話し会のご案内させていただきました。皆様お忙しい中お話し会にご参加の御返事をいただき、大変ありがとうございます。お話し会では思いを語っていただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

お話し会のご案内

演 題 墨田区各地域での高齢者の会の活動について

主 催 静岡文化芸術大学教授 小沼朋子研究員

日 時 令和8年1月16日(金)14時

会 場 立川一日町会会館 墨田区立川1-17-10 1階

ご案内 立川・菊川中和5ヶ町の小地域福祉委員会 中和子どもひろばの皆様
立川、菊川5ヶ町において活動しています小地域福祉委員会、中和子どもひろばでご活躍されています責任者の皆様に先ずはお願ひさせていただきました。
立2 清水敏子様、立3 秋田房子様 菊1 曾根朋修子様、菊2 櫻井ナツミ様
開催日が墨田区墨芝池の新年会開催と重なってしまいました。各町の責任者の皆様が話し会への参加者をご推薦していただきました。

参加者 各町の責任者の皆様のご尽力により立・菊5ヶ町にて11名の皆様にお話し会にご参加していただけますことになりました。心より感謝申し上げます。
ご参加の皆様、お話し会では日頃の活動について迷わないご意見をお話しいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

連絡係 令和8年1月13日 立一ふれあい社会委員長 角田妙子 03-3631-4351

2026年 1月19日

「お話し会」の案内状で、近隣の複数の地区のシニア活動のリーダー経験者が招集された。平均年齢85歳の超高齢化の課題、集合住宅の住人との付き合い方、会合での飲酒のルール、男性会員の要望など日ごろの活動内容や課題などが交わされ有意義な時間だった。

《課題Ⅰ：メンバーが集まらない》の背景

【1】 70歳まで仕事をする人が多い社会的背景

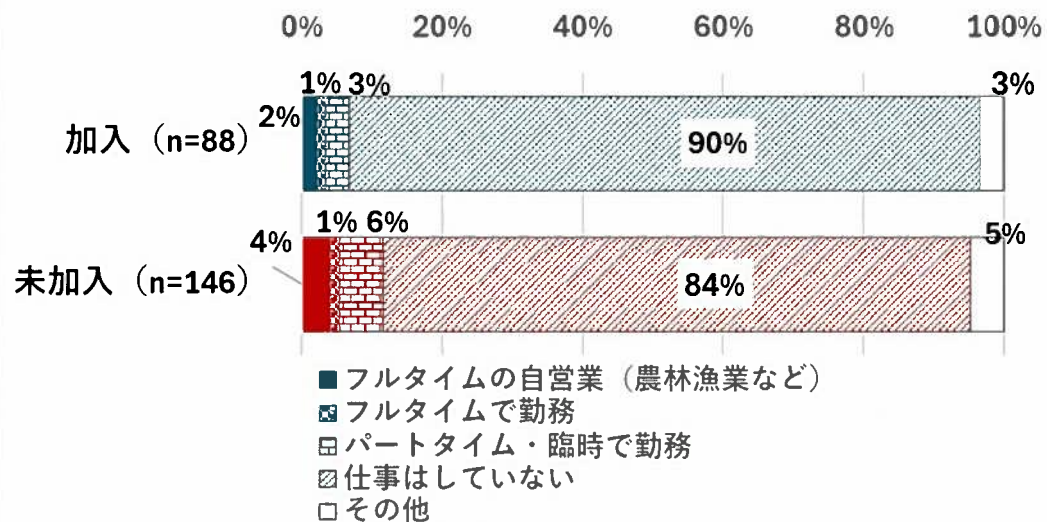
【2】 シニアコミュニティの多様化と分散

【3】 未加入者にシニアクラブの情報が得られにくい

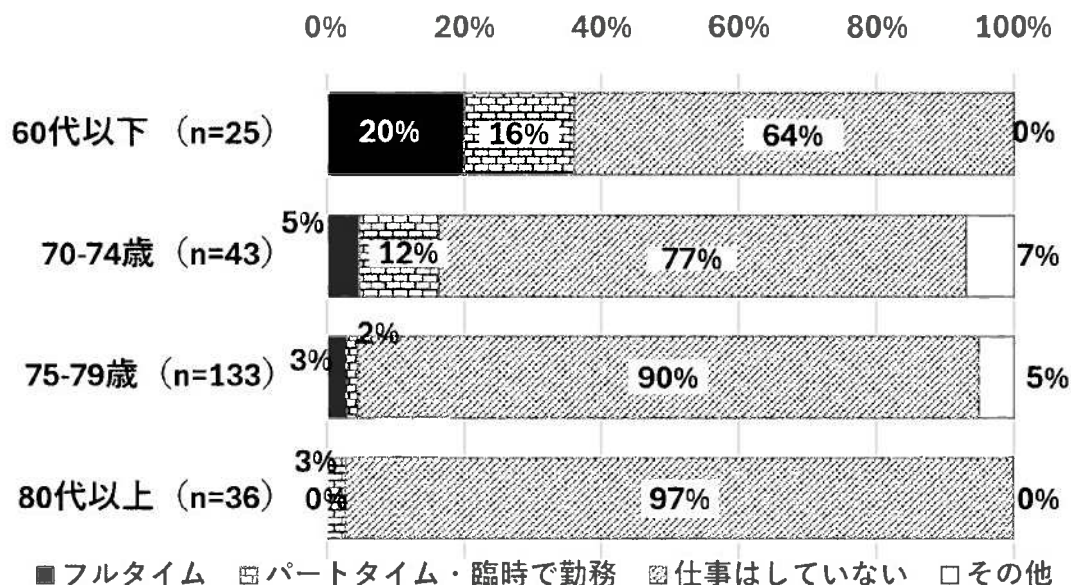
【3】 職業

加入/未加入
比較

Q 職業 (n=234)



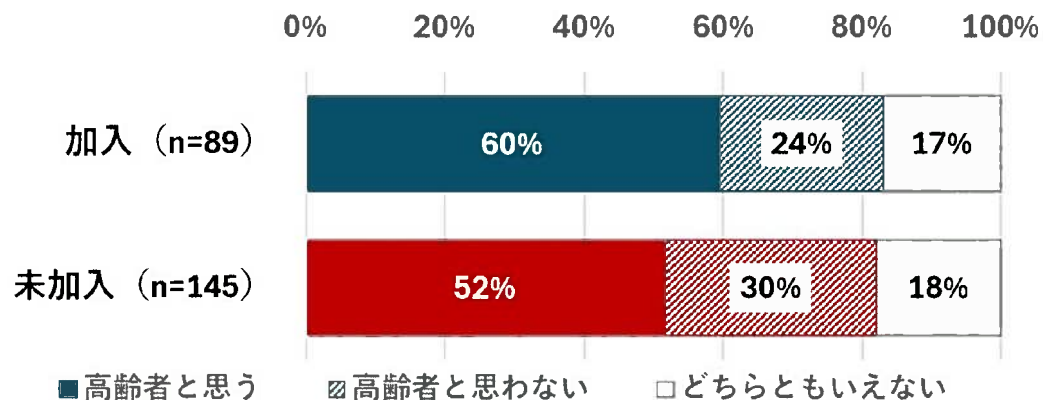
職業/年齢別 (n=237)



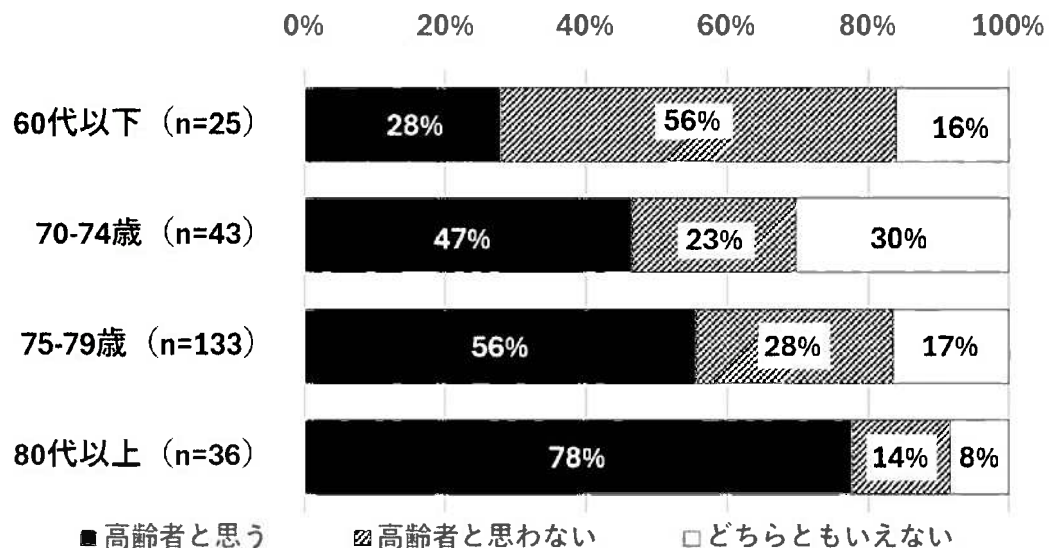
【2】高齢者の自認

加入/未加入
比較

Q あなたはご自身のことを、高齢者と思いますか？



■ 高齢者の自認/年齢 (n=237)



《課題Ⅰ：メンバーが集まらない》の背景

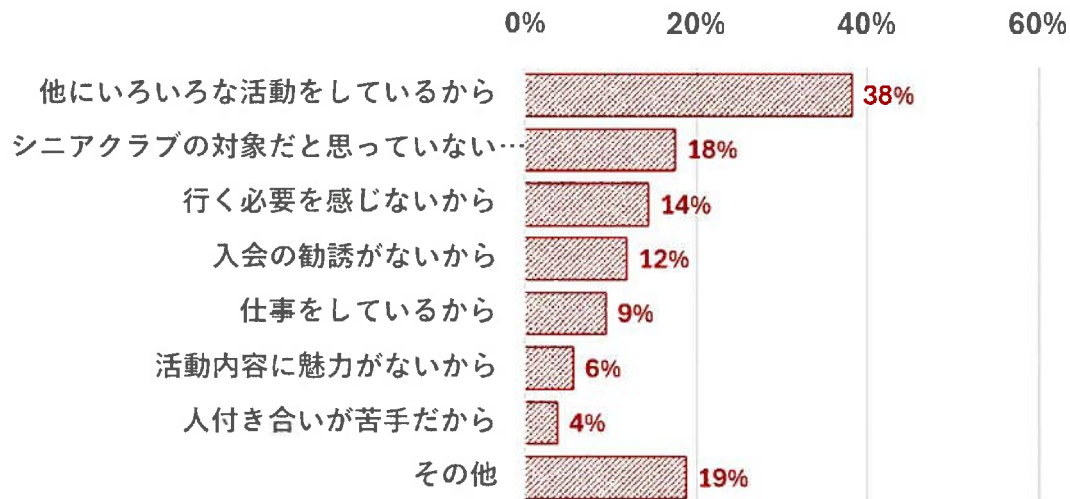
【Ⅰ】 70歳まで仕事をする人が多い社会的背景

【Ⅱ】 シニアコミュニティの多様化と分散

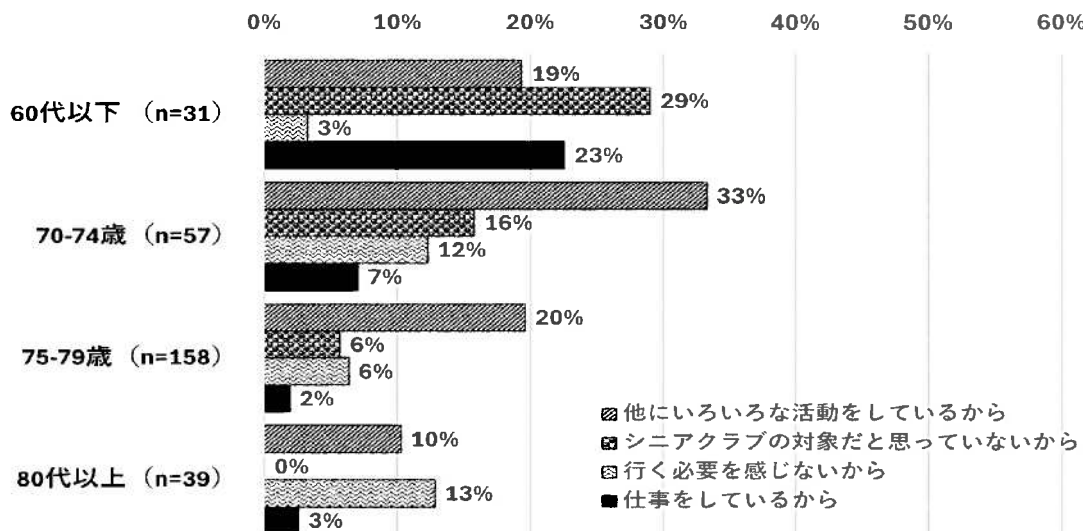
【Ⅲ】 未加入者にシニアクラブの情報が得られにくい

【11】シニアクラブの未加入の理由

Q 未加入者→シニアクラブに入っていない理由は？（n=160）



■ 未加入の理由/年齢別



《課題Ⅰ：メンバーが集まらない》の背景

【Ⅰ】 70歳まで仕事をする人が多い社会的背景

【Ⅱ】 シニアコミュニティの多様化と分散

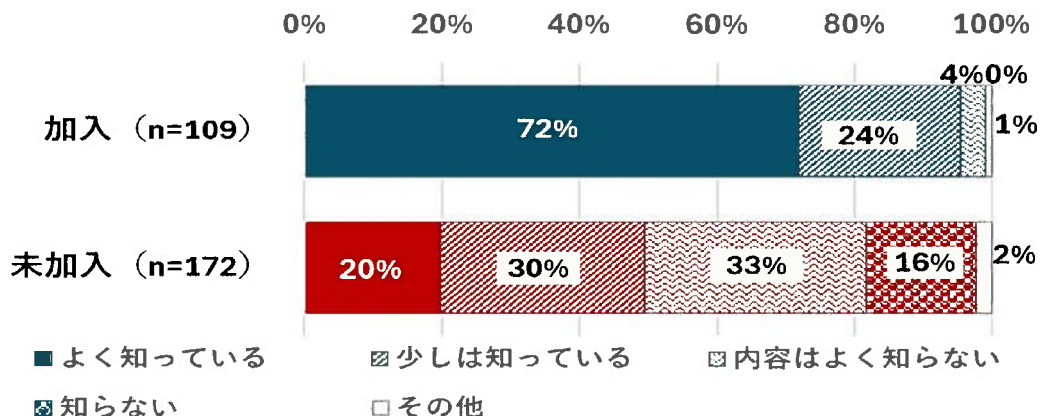
【Ⅲ】 未加入者にシニアクラブの情報が得られにくい

【9】シニアクラブの認知

加入/未加入
比較

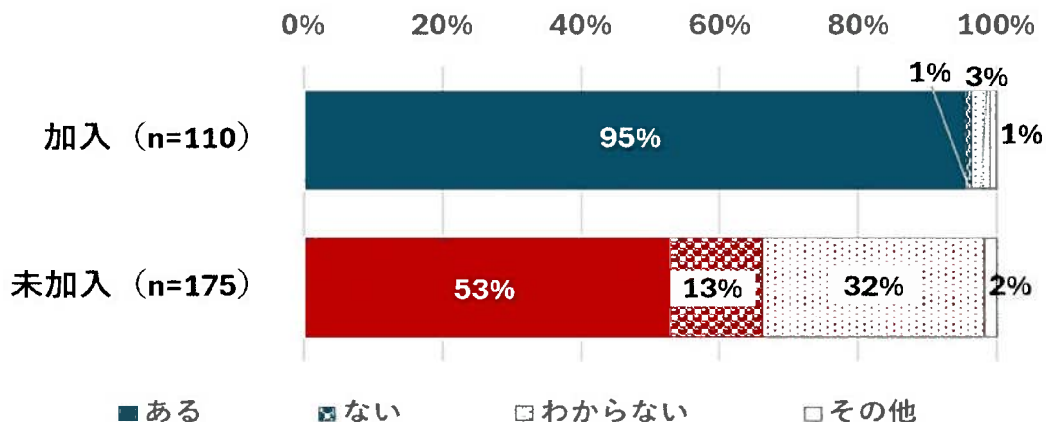
Q 老人クラブ／シニアクラブの存在を知っていますか？（n=281）

・未加入者の49%が、シニアクラブの内容をよく知らない。



Q あなたの住んでいる地域に老人クラブ／シニアクラブはありますか？（n=285）

・未加入者の32%が、シニアクラブがあるかどうか分からない。

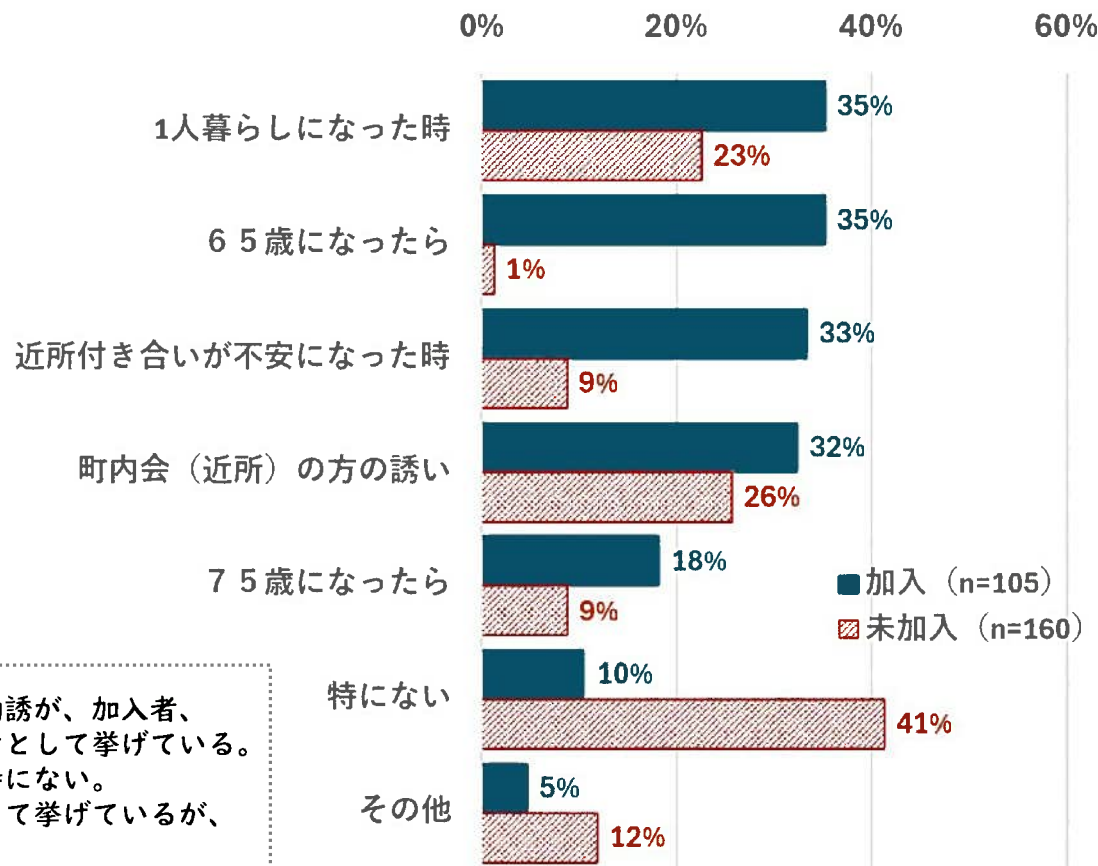


【12】シニアクラブに入る好ましいきっかけ

加入/未加入
比較

Q 加入者→シニアクラブにどのような方が入ってくれるといいですか？（n=105）

Q 未加入者→シニアクラブに入るとしたらきっかけはどのようなこと？（n=160）



- ・一人暮らしになった時、近所の人の勧誘が、加入者、未加入者ともに多くの人が、きっかけとして挙げている。
- ・未加入者の人の41%は、きっかけが特にな
- ・加入者の35%が、65歳をきっかけとして挙げているが、未加入の人は1%しか挙げていない。

課題Ⅰへの提案

♡ 70歳を超えて時間ができ、地域とのつながりを少しはもちたいと思うとき、1人暮らしの方などには、積極的に声がけできる環境をつくる。

♡ 88歳で自治会からお祝いが出るタイミングで、全員加入という実践方法もある。

♡ 広報誌の配布 デジタルよりも紙。
町の掲示板の活用

※ヒアリングでうまく運営できているところには必ず手作りの広報誌が存在。

名前を書いてポスティングすることで、意識してみてもらえるようになった、
掲示板に貼っているイベントに新しい参加者が来た、などの報告もあった。

《課題２：役員を担う人材不足》の背景

◆高齡化はどこでも問題

役員も高齡化し、若い世代（60代）の会員が少ないため、引継ぎができない。

◆役員が目星をつけて、有望な方が退職、自治会の役を降りた時などのタイミングにお願いすることが多い。

それが現実的で安定しているが、一定の人に依頼が偏り、作業の負担のアンバランスがおこる。

課題2への提案 役割を明確にした組織づくり

♡ 役割を担う専門性を尊重して、地域コミュニティを運営。

「高齢者になっても、人の役に立ちたい」という思いはあると、いたるところで聞かれる言葉。

※医療関係者をメンバーに入れることで、安心感が生まれた、高齢者自身がプランした散策ツアーは配慮が行き届いていると好評だった、などの報告もあった。

♡ 親のサポートで子供世代が加入することを推奨する。

60代の会員が入ったことで、様々なことがスムーズにいている。会計など、若い人がボランティアでも分担して参加してもらおうと、将来会員への入会にもつながるのではないかな。

《課題3：魅力ある活動の企画・継続が困難》の背景

それほどアンケートからは問題は見られない。

他のコミュニティと活動が被ることも原因か？

課題3への提案

目的や状況にあわせて、フレキシブルに 他のコミュニティ活動と連携

♡ 地域のコミュニティ運営組織とうまく連携することで、
役員の方の負担も軽減し、会員の増加につなげる。

♡ その土地の習慣、その時の担当者の意向などにあわせて、
連携できる場所をいくつかもち、フレキシブルに関係性
を作ることができるようなしくみ

♡ 産官学が連携したプログラムなどを考える。

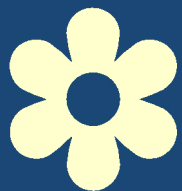
※今回のアンケート調査、ヒアリングの機会も、
実際にやってみると、身近なテーマで、実践的な学びの
機会となり、参加者の方に喜ばれた。

まとめ 今後に向けて

♡ 290件のアンケートで、加入者と未加入者の意識を比較できたことは手ごたえが大きく、貴重な研究となった。

♡ 収集したデータをさらに分析して調査結果をまとめたい。

- ▣ 調査に協力したシニアクラブ、シニアコミュニティ、関連のコミュニティ、行政機関に結果を発信し、コメントのフィードバックを得る。
- ▣ 本学の紀要として発信する。（2026年度発行）
- ▣ 現場リサーチを継続するとともに、学生の研究・制作テーマにも積極的に取り入れ、さらに実践的な提案に発展させたい。



ふじのくに地域・大学コンソーシアム
ゼミ・研究室等地域貢献推進事業

ご清聴
ありがとうございました